

自研会、ユーパーツの清水道悦社長が会長に

2021.03.29

 ツイート

 シェア 0

 LINEで送る

紙面で読む

この記事をストック



清水会長

自動車リサイクル事業者で構成する自動車補修部品研究会（自研会）は役員改選を行い、ユーパーツ（埼玉県熊谷市）の清水道悦社長が会長に就任した。副会長はエコアール（栃木県足利市）の石井浩道社長と、青南商事（青森県弘前市）の安東元吉社長が就任した。栗原裕之前会長は相談役に就いた。

自研会は大手の事業者を中心に40社ほどが参加し、情報交換などを通じて事業の成長を目指す。これまで、リサイクル以外にもさまざまなテーマで研究、議論を深めてきた。2021年からは、今後の自動車産業の変化を見据え、次世代自動車に焦点を当てて活動する。

清水会長は「電気自動車が普及した際の部品生産のノウハウが業界にない。次世代車の普及に先駆けて議論することで、新たな商機の創出に役立ててもらいたい」と語る。テーマを絞り込むことで、課題の洗い出しや適切な資源循環に向けた議論を進めたい考えを示す。

定例会は通常、年4回の開催だが、今年はコロナ禍の影響で6月と12月の2回とする予定を立てる。